

事務事業調書

平成27年度

事業No	809	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名	歴史博物館収蔵品購入事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成03年度	経過	24年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	地域の文化や習俗、歴史に関心を持つ人が			~になる	実物資料を見ることができるようになります。
事務事業の内容	安城市及び三河地方の歴史や文化に関わる資料を収蔵し、企画展や特別展、ミュージアム・スポット及び常設展示室等で展示し、広く市民に紹介します。					
改善・対策の履歴	高額資料は博物館協議会に諮ります。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,987	3,294	6,449	2,073	4,449
財源計	3,538	1,845	5,000	624	3,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,538	1,845	5,000	624
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	博物館資料の購入	見込	10.00	10.00	5.00	3.00
			実績	4.00	1.00	3.00	
	指標名 (単位)	購入資料点数(点)	活動の総事業費 (千円)	4,798	3,105	1,884	
			活動にかかるコスト (千円)	1,199.50	3,105.00	628.00	
活動2	活動名 (活動内容)	購入資料検討会議(博物館協議会内)の開催	見込	1.00	1.00	1.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	315	315	315	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	博物館収蔵資料点数(点)		目標	62,000.00	72,000.00	70,000.00	72,000.00
			実績	62,893.00	66,312.00	69,763.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
		目標達成年度	目標成果指標値		達成状況		

5 成果1、2以外の成果

成果	安城市にとって価値のある資料を得ることができました。資料の購入について協議会で諮ることで資料に関する様々な意見や市民の要望を聞くことができました。購入希望資料について調査することで安城市にとって有益な様々な知識等を得ることができました。新収蔵資料の展示の際、博物館に関する市民の要望や意見を聞くことができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		25年度は、1件98点の古文書資料を購入したため、単位あたりのコストは上昇しています。
成果		地域の歴史を語る上で貴重な資料を購入することが出来、今後の企画展などでも活用できる見通しです。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	資料購入時、安城市にとって本当に必要であるか、価格が適正であるかを係会議や課内及び博物館協議会等で十分に審議します。また、購入した資料を市民に紹介する機会である企画展、特別展、ミュージアムスポットで展示方法・解説文等を工夫し、わかりやすい展示の工夫をします。また、学芸員を中心に出来る限り展示室で市民に説明し、市民の理解を深めるようにします。新規購入資料に関わらず、市民からの寄贈資料についても企画展・特別展に有効に活用していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	資料の収集方針については今一度再検討し、今後の事業の方向性について結論を出していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	794	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名	歴史博物館常設展事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成03年度	経過	24年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	来館者が			~になる	安城市や地域の文化に対して理解が深まる。
事務事業の内容	歴史博物館常設展示室を、より魅力あるものとし、展示のテーマである「安城を中心とした西三河の歴史と文化」を観覧者に理解してもらいます。また、特別展・企画展や、調査研究活動の成果を反映させ、常に「新しい歴史観」の提示を行い、「安城の歴史と文化の顔」としての位置付けとします。					
改善・対策の履歴	平成23年度に古代の展示コーナーの全面的な改修を行いました。 平成24年度は展示台のクロスの張替え、仮設壁を設置しました。 平成25年度は特別展で製作した町並み模型を設置、弥生時代・古墳時代のコーナーの全面的な資料入れ替えの実施、六角形人形の修繕を行いました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	5,429	5,647	3,811	5,670	4,612	
財源計	2,594	2,812	976	2,835	1,777	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	354	375	340	308	350
	一般財源	2,240	2,437	636	2,527	1,427
受益者負担金	354	0	340	308	350	
職員人件費 (従事職員数)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	展示物修復及び展示替え	見込	1.00	1.00	1.00	4.00
			実績	1.00	1.00	4.00	
	指標名 (単位)	修繕及び展示替え改修(回)	活動の総事業費(千円)	3,854	2,382	1,383	
			活動にかかるコスト(千円)	3,854.00	2,382.00	345.75	
活動2	活動名 (活動内容)	ボランティア解説員の養成	見込	3.00	3.00	3.00	1.00
			実績	3.00	3.00	1.00	
	指標名 (単位)	養成講座(回)	活動の総事業費(千円)	756	756	756	
			活動にかかるコスト(千円)	252.00	252.00	756.00	
活動3	活動名 (活動内容)	職員等による展示解説	見込	15.00	15.00	20.00	20.00
			実績	30.00	20.00	20.00	
	指標名 (単位)	解説回数(回)	活動の総事業費(千円)	819	819	819	
			活動にかかるコスト(千円)	27.30	40.95	40.95	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	常設展示観覧者数(人)		目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
			実績	10,025.00	9,631.00	13,300.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成
成果2	観覧者満足度(%) 満足した観覧者/アンケート回答数(%)		目標	70.00	70.00	70.00	70.00
			実績	59.00	54.00	46.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	常設展示室のテーマである「安城を中心とした西三河の歴史と文化」に対して理解が深まりました。見学日時が特定できる学校からの団体見学者が全体の4割を占めることから、ボランティア解説員により深く理解できるようにしました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		ボランティア解説員については、実際に活用することに重点を置きました。一般団体に対しては、要望に応じて、学芸員が直接解説しました。23年度のコスト上昇は、展示ケースを新設したことによるものです。
成果		平成24年度常設展示観覧者数は平成23年度に比べてやや減少しました。今後も展示替えを定期的に行い、PRしていくなどの努力を継続的に進めていく必要があると思われます。平成25年度は、観覧者数、観覧者満足度ともに低下傾向になりました。PRをふくめた問題のほか、アンケートの実施方法についても検討が必要と思われます。平成26年度は、好評であった特別展にあわせて常設展を見学するケースが増えました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	常設展示の展示替えは継続的に行っていくことには変わりはないが、それを様々な方法・方面にアピールしていくこと、学芸員が観覧者に対して今以上に案内をしていくなどの努力をしていく必要があります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	常設展示室の改修について検討しつつ、定期的な展示替えや来館者への解説を行う、展示資料の解説を充実させるなど来館者を満足させる努力を引き続き行っていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	795	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名	歴史博物館特別・企画展事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成03年度	経過	24年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	歴史や文化に興味のあり、教養を高めた人たちが		~になる	展覧会の観覧により安城市や地域の文化に対して理解が深まる。	
事務事業の内容	西三河の歴史に関連する内容の有料展覧会を年3回、無料展覧会を年2回開催します。					
改善・対策の履歴	平成25年度からは、分かりやすいように企画展を特別展に、ミュージアム・スポットを企画展に名称変更しました。特別展は年間3本、企画展は年間2本で年間の展覧会スケジュールを構成しています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	28,436	37,614	39,738	35,980	45,411	
財源計	20,561	25,014	27,138	23,380	32,811	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,195	1,323	2,580	2,535	2,752
	一般財源	17,366	23,691	24,558	20,845	30,059
受益者負担金	3,195	0	2,580	2,535	2,752	
職員人件費 (従事職員数)	7,875 (1.25)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	企画展開催	見込	3.00	3.00	5.00	5.00
			実績	3.00	5.00	5.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	26,861	29,991	32,830	
			活動にかかるコスト (千円)	8,953.67	5,998.20	6,566.00	
活動2	活動名 (活動内容)	講座(講演会・体験コーナー)	見込	15.00	15.00	20.00	20.00
			実績	17.00	26.00	20.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,575	3,103	3,092	
			活動にかかるコスト (千円)	92.65	119.35	154.60	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	特別・企画展観覧者数(人)		目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
			実績	17,712.00	23,952.00	23,053.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	観覧者満足度(%) 満足した観覧者/アンケート回答者数(%)		目標	70.00	70.00	70.00	70.00
			実績	94.00	68.00	80.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	いずれの回も地域の歴史に関する事柄をテーマとして開催したことにより、市民の関心を喚起することができました。それぞれ図録も発刊したことから、展覧会開催にともなう調査成果を展覧会終了後も活用できる環境を整えることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		ポスター・チラシ・観覧券・図録作成業務を一本化して入札を実施したため、個々で入札した場合に比べて安く落札されました。
成果		専門家の視点からは十分に魅力のある内容の展覧会であっても、一般の視点からみて魅力的な出品資料が少ない場合や、抽象的なタイトルである場合に、観覧者が伸び悩む傾向があります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	学芸員全員が、意識を持って展覧会のPRや解説を充実させていくことをこれまで以上に実践していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後も来館者にわかりやすい展示を心がけます。また、チラシ・ポスター等企画展・特別展の広報用印刷物は展覧会開催1か月以上前に作成し、宣伝・普及に努めるようにします。

事務事業調書

平成27年度

事業No	797	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名	歴史博物館体験学習等開催事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成03年度	経過	24年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	安城市の歴史に興味のある人が			~になる	体験することを通して、より深い理解と文化を育む心を育てる
事務事業の内容	体験講座(主に「食」をキーワードにした体験)や連続講座(年2テーマ:5~6回シリーズ)、映画会(年12回)、ミュージアムコンサート等(年7回程度)を実施します。					
改善・対策の履歴	「鎧の試着会」には多くの方に参加していただける一方、待ち時間の長さ等スムーズな運営が改善点となっています。そのため、平成16・18年度に合わせて7領の鎧を購入、また職員とともにボランティアの方々に協力いただくことで、待ち時間短縮のための対策を行いました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	7,052	6,922	7,167	6,630	7,249
財源計	2,012	1,882	2,127	1,590	2,209
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	16	40	25	17
	一般財源	1,996	1,842	2,102	1,573
受益者負担金	16	0	25	17	15
職員人件費(従事職員数)	5,040 (0.80)	5,040 (0.80)	5,040 (0.80)	5,040 (0.80)	5,040 (0.80)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	親子で参加できる体験講座の開催	見込	6.00	6.00	6.00	6.00
			実績	6.00	16.00	11.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	3,049	2,876	4,110	
			活動にかかるコスト (千円)	508.17	179.75	373.64	
活動2	活動名 (活動内容)	連続講座の開催 (5~6回連続講座)	見込	3.00	3.00	2.00	2.00
			実績	3.00	3.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催数(テーマ)	活動の総事業費 (千円)	1,524	1,500	1,347	
			活動にかかるコスト (千円)	508.00	500.00	673.50	
活動3	活動名 (活動内容)	ミュージアム・コンサート等の開催	見込	5.00	5.00	4.00	5.00
			実績	5.00	4.00	5.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,790	3,433	1,920	
			活動にかかるコスト (千円)	558.00	858.25	384.00	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	講座等参加者数(人)		目標	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
			実績	6,277.00	10,432.00	6,758.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	食文化伝承をふまえた「かしわもちをつくろう」等の体験講座は、定員を超える申込みがあり、好評を博しました。同じく多くの参加者を得た「鎧の試着会」ではボランティアの方と協力して多くの参加者の待ち時間の短縮につとめました。ミュージアム・コンサート、映画会の参加者を展示も観覧していただけるよう、随時、担当学芸員による展示解説を行いました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		活動①~③は展示の開催時期等により開催回数の増減、開催内容の変化があるため単純に比較できませんが、平成20年度に比べて単位コストが上がっています。今後、内容の充実と合わせて単位コストを抑えていきます。
成果		毎年恒例行事として行う体験講座ほ他に、昔のおもちゃで遊ぶコーナー26年度は2回実施、多くの参加者がありました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	講座催し物参加者と常設展・企画展の観覧者を結びつけられるように、相乗的な質・量の向上につとめます。また、地域の食文化の伝承をふまえた体験講座等、市民の方のニーズに合う催し物を工夫し、開催していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	食べ物を作る体験講座は申込みが多く、これら人気の高い講座を充実させることで幅広い年齢層の参加者を獲得し、身近な博物館となるように活動していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	798	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名					事業種別	企画・計画策定	
企画展調査事業							

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		50-25-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成03年度	経過	24年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	安城市歴史博物館が			~になる	より魅力のある展覧会を計画・開催することができる
事務事業の内容	翌年度以降に開催を予定していく特別展・企画展のために、資料等の調査を実施します。					
改善・対策の履歴	他の業務と兼ね合わせて調査活動をするように努めた結果、この事業として行った調査回数を抑えることができました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,398	6,353	6,489	6,423	6,489
財源計	98	53	189	123	189
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	98	53	189	123
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	調査活動	見込	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	調査出張回数(回)	活動の総事業費 (千円)	6,398	6,326	6,423	
			活動にかかるコスト (千円)	2,132.67	3,163.00	3,211.50	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	展覧会出品を検討した調査資料件数(組)			目標	3.00	3.00	3.00	3.00
				実績	3.00	3.00	3.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	積極的に調査活動を行ったことにより、各特別展・企画展の概要を固めることが出来ました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	特別展・企画展の借用・返却などと兼ねたため、出張回数が抑えられました。
成果	調査により新たに調査を必要とする場所等の情報が得られ、展覧会を充実させるための有益な情報を得ることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
調査で得た内容や人脈を、該当する企画展・特別展に活かすのはもちろん、情報網を活用して積極的に行動し、展覧会の充実に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	調査で得た内容や人脈を該当する企画展・特別展に活かし、展覧会の充実に努めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	1074	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名					事業種別	市民サービス	
次年度対策事業							

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		50-25-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先				
実施期間	開始	平成23年度	経過	4年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	年度当初の展覧会の情報を知ることができる	
事務事業の内容	翌年度の当初(4~5月)に開催する展覧会について、事前告知のための印刷物作成や、資料借用・運搬などを行います。					
改善・対策の履歴	特にありません					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,055,173	203,826	5,379,126	5,772	908
財源計	5,055,047	203,700	5,379,000	5,646	782
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,055,047	203,700	5,379,000	5,646
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	ポスター・チラシ等の印刷	見込	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00
			実績	11,000.00	11,000.00	11,000.00	
	指標名 (単位)	印刷枚数(ポスター+チラシ)(枚)	活動の総事業費(千円)	5,055,173	203,826	441	
			活動にかかるコスト(千円)	459.56	18.53	0.04	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	次年度対策対象展覧会 入場者数(人)			目標	2,000.00	6,000.00	6,000.00	0.00
				実績	1,954.00	6,256.00	6,733.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	25年度は展覧会の開催期間が長くなり、小中学校の見学学習による観覧者数が多くなっています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	展覧会の会期が年度をまたぐ場合はポスター・チラシの印刷は次年度対策とはならず、近年はパンフレットの印刷が新たに加わっています。このため年度により変動が大きいです。
成果	入場者数そのものは目標をクリアしているが、単純にこれがポスター・チラシの印刷により増加したものとみなせません。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
より効果的なPRを行うため、記者会見・部課長会・教育委員会などのタイミングに先んじてポスターなどが納品されるよう、スケジュール管理を強化します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	年度当初に実施する展覧会は、年度をまたいだ会期を設定しない限り確実に存在するので、必ず事前告知のための印刷物作成は必要です。また、準備の内容によってはその他の費用も発生します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	799	課	文化振興課	係	学芸係	起案者	天野信治
						決裁者	牧浩之
事務事業名	歴史博物館情報提供事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 1 歴史博物館・埋蔵文化財センター 1 歴史博物館			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成03年度	経過	24年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	安城の歴史や文化に興味のある人が			~になる	安城市歴史博物館の催し物や収蔵資料等の情報を得られる
事務事業の内容	催し物案内発行など展覧会・催し物などのPRの他、資料の保存・修復を通じて収蔵資料の情報を提供します。					
改善・対策の履歴	これまで別々に行っていた広告塔・JR駅看板と施設内案内看板(4カ所)作成を19年度に1本化することで事務量の軽減・人件費削減に努めました。博物館ニュースは平成17年度より年間契約とし、事務量を減らすとともにコスト削減を図りました。また、平成18年度より全ページカラーとしました。広告塔・JR駅看板はそれぞれ展覧会ごとに作成。平成18年度より年間契約としました。平成26年度から催し物案内を広報折込で全戸配布しています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	15,405	14,483	17,399	15,721	20,501
財源計	7,530	6,608	9,524	7,846	12,626
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,530	6,608	9,524	7,846
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	博物館ニュース、催し物案内等の発行	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	発行回数(回)	活動の総事業費(千円)	5,040	5,040	5,040	
			活動にかかるコスト(千円)	1,260.00	1,260.00	1,260.00	
活動2	活動名 (活動内容)	くん蒸、害虫検査等	見込	2.00	2.00	9.00	7.00
			実績	2.00	9.00	7.00	
	指標名 (単位)	くん蒸回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,575	4,021	4,190	
			活動にかかるコスト(千円)	787.50	446.78	598.57	
活動3	活動名 (活動内容)	広告塔・JR駅看板等の作成	見込	6.00	6.00	5.00	5.00
			実績	6.00	5.00	6.00	
	指標名 (単位)	作成回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,575	3,010	2,903	
			活動にかかるコスト(千円)	262.50	602.00	483.83	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	歴史博物館入館者数(人)		目標	33,500.00	34,000.00	34,500.00	35,000.00
			実績	27,392.00	37,212.00	33,975.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	広報印刷物の余りや配布先を考慮し、印刷部数の見直しを行いました。
----	----------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	年間複数回業務を行う博物館ニュースや催し物案内の作成、展覧会案内看板作成について年間契約としたため、コストをおさえることができました。	
成果	展示の内容に合わせたPR先の新規開拓・見直しについてさらに検討する必要があります。また、報道機関に取り上げられるように、さらに周知する必要があります。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
広報用の印刷物の作成は開催の1ヶ月前とし、最大の効果が挙げられるよう配布先は定期的に見直すようにしていきます。また、展示関係の看板類は前の展示終了後すぐ次の展示の宣伝ができるよう準備をしていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	博物館ニュース同様、催し物案内も1ヶ月以上前に配布できるように作成し、博物館行事を広く宣伝できるようにします。また、印刷物の配布先の見直しを行い、効果的に配布できるようにします。